

あのシーン、あの場所を訪ねて

『旅と日々』in

神津島

こうづしま

ロケ地 Trip

毎日
が旅の
途中だ

キレイな
海ビュー

東京・竹芝から
アクセス!

懐かしい風景に
であえる島へ

天上山
花トレッキング

星空に
癒やされる

おいしい
島グルメ

映画『旅と日々』より、三宅 唱監督・河合優実さん・プロデューサーの3名に
ロケ地・神津島の魅力を教えていただきました



島内を散策するシーンは住宅街の道(→P4)でも撮っている



岩肌を背に空を見上げる渚のシーンは返浜(→P4)で撮影

島独特の空気感と自然美にふれられる

旅と日々×神津島

映画『旅と日々』の劇中映画は、つげ義春氏の漫画『海辺の叙景』が原作。夏の神津島で撮影され、男女の穏やかなやりとりに、島ならではの空気感や非日常の風景が優しく寄り添っている。

2025年11月7日(金)より全国公開

STORY

主人公は、行き詰まった脚本家の李(シム・ウンギョン)。旅先の雪深い山奥の宿で出会った宿主・べん造(堤真一)との出会いをきっかけに、自らの人生と向き合っていく。李が脚本を書いた劇中映画の舞台は、夏の海辺。渚(河合優実)と夏男(高田万作)の何気ない交流を、自然への畏敬とともに繊細に描く。ロケ地となった神津島の雄大な自然もみどころだ。

CAST

●シム・ウンギョン … 李 ●堤真一 … べん造
●河合優実 … 渚 ●高田万作 … 夏男
ほか豪華キャスト多数

www.bitters.co.jp/tabitohibi

© 2025『旅と日々』製作委員会

神津島ロケの思い出・裏話

映画『旅と日々』の神津島ロケに参加した、三宅監督、俳優・河合さん、城内プロデューサーの3名に、神津島の魅力とロケの思い出を聞きました！



俳優 河合優実さん

かわい ゆうみ

PROFILE

2000年生まれ、東京都出身。2024年、主演映画「あんのこ」で第48回日本アカデミー賞最優秀主演女優賞を受賞。ドラマ「不道切にもほどがある」やNHK連続ドラマ小説「あんぱん」での演技が話題に。

プロデューサー

城内政芳さん じょうないまさよし

Q | ロケの裏話を教えてください。

撮影は7月に行われたのですが、海に入るにはちょっとだけ肌寒い日でした。そこで、島在住のアウトドアマスターたちが返浜に薪のお風呂を作ってくれたんです。撮影で冷え切った体にお湯が染みわたり、生き返った心地でした。

Q | お気に入りのスポットは？

赤崎遊歩道(→P6)は、泳ぎが得意な人も泳げない人も「海っていいな、すごいな」と思えるスポット。波もないので、親子連れでも安心して泳げます。

Q | おすすめのおみやげは何ですか？

よっちゃーれセンターでキンメダイの煮付けを買って帰り、後日思い出に浸りながら舌鼓。一瞬で南国気分になれるパッションフルーツもおすすめです。



監督 三宅 唱さん

みやけ しょう

PROFILE

1984年生まれ、北海道出身。長篇映画「ケイコ 目を澄ませて」(2022)、「夜明けのすべて」(2024)などのほか、ビデオインスタレーション作品やMVなど幅広い映像作品で活躍する。



神津島ロケの様子



神津島温泉保養センター



赤崎遊歩道

Q | 神津島をロケ地に選んだ理由を教えてください。

かやすは返浜の雰囲気大きな決め手でしたが、島全体に直感的に色気のようなものを感じたからです。映画をより豊かなものにしてくれるロケーションだと思いました。

Q | 実際に撮影して感じた神津島の魅力は？

海を眺めれば背後に天上山(→P7)を感じ、山を見上げれば背後に波を感じて。観光地然としていない剥き出しの自然に囲まれていて、退屈なようでいて妙に飽きない、不思議な時間が流れているところです。

Q | 撮影時に特にこだわったことは何ですか？

主人公たちがこの風景に溶け込んでいくことに集中しました。それから風を撮りたいと思い、地形や天気を観察していました。

Q | おすすめの観光スポットを教えてください。

温泉(神津島温泉保養センター、→P6)は好きですし、海の中も気持ちいいです。よっちゃーれセンター(→P7)の定食は全メニューを3周くらいしましたが、どれもおいしかったです。また、神津島村郷土資料館(→P4)もおもしろく、特に鈴木テリさんの作品展示に心奪われました。

Q | イチオシの神津島みやげは何ですか？

塩辛！のり！盛若！は定番として、神津島村郷土資料館で自分のために「神津島のお年より作文集」を買いました。多くの人の人生が詰まっていて読みごたえあり、笑いも涙も込み上げました。



島トリビア

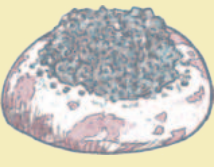
神津島の由来

神津島には、神々が集まって伊豆諸島を作る相談をしたという神話があり、かつては「神集島」と書いていたと伝わる。天上山(→P7)には、できあがった伊豆七島の神々が、水をどの島にどれだけ分けるかを話し合ったという水配り伝説も残る。水の分配は先着順となり、最初に来た御蔵島の神様が最も多くの水を受け取り、次いで新島、八丈島、三宅島、大島の順に分けられた。最後に利島の神様が着いた時には、水がほとんど残っておらず、怒った利島の神様は残った水に飛び込んで暴れ回った。水は四方に飛び散り、神津島のあちこちから水が湧き出るようになったといわれている。



「潮花」を供える習わし

長浜海岸(五色浜海岸)の奥に鎮座する阿波命神社(→P7)には、大漁や船出の安全を願う時、島居に「潮花」を供える習わしがある。「潮花」とは長浜海岸の波打ち際の濡れた砂を盛った平たい小石のこと。砂や小石には神様が宿るとされ、石を持ち出すと神罰が下るともいわれている。



「二十五日様」という風習

神津島には、旧暦1月23日から26日までの4日間、夜間の外出を控えて静かに過ごす「二十五日様」という風習がある。なかでも決して見てはいけない神様(二十五日様)が島に訪れるという24・25日は、夜に外出すると不幸が訪れると言われ、毎年、飲食店や商店も早く閉まり、観光客も夜間の外出を控える必要がある。2026年は3月12・13日がその日にあたるので旅行の計画には注意を。二十五日様については、猿田彦大神であるなど諸説ある。



旅の前にチェック！

神津島 早わかり

東京から船や飛行機が毎日運航しており、気軽にアクセスできる神津島。天候次第で欠航になることもあるので最新情報を確認し、予備日を合わせてプランを立てておくと安心！

知っておくと安心！ 島旅Q&A

Q 島内の入出港地は？

船なら神津島港(前浜港)と多幸湾三浦漁港の2つの港から。天候などにより当日朝8時頃に発着港が決まる。飛行機なら神津島空港から。こちらも荒天時には欠航になることもあるので必ず事前確認を。

※運航状況は、東海汽船・神新汽船・新中央航空の公式サイトで確認を

Q 島内の移動手段は？

神津島港周辺の観光は徒歩でOK。市街地から離れた名所や港間の移動は村営バスが便利。便が少ないオフシーズンや路線外のエリアへは、レンタカー(要予約)やタクシーの利用がよい。

Q ベストシーズンは？

海水浴は7～9月が最盛期。トレッキングは年間を通して楽しめるが、オオシマツツジに彩られる春、リンドウが美しい秋は特におすすめ。星空観測は澄んだ空が広がる11～2月頃が最適。

Q 名物グルメは？

キンメダイやイセエビなど地産の新鮮な魚介は必食！イカの塩辛はみやげにも人気だ。名産の明日葉を使った天ぷらやクラフトビールもおすすめ。

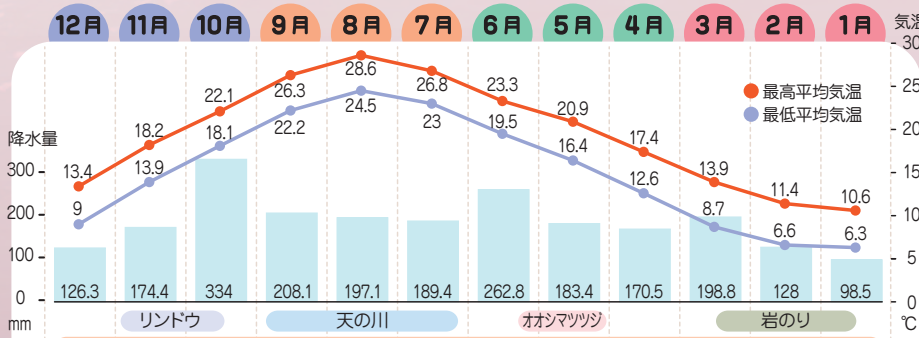
Q コンビニはある？

島内にコンビニはないものの、神津島港から徒歩圏内にスーパーや商店、100円ショップが点在。比較的早い時間に閉店するので、買い物は明るいうちにすませるのがベター。

Q どんな宿があるの？

民宿や旅館、ホテル、コテージ、ゲストハウスなど多彩に揃う。神津島へ入島するためには宿の事前予約が必須！神津島観光協会公式サイト(右記)でも宿泊予約ができる。

シーズンカレンダー



平均気温・降水量は2003～2020年の平年値(気象庁)です。

こんな島です！

神津島は伊豆諸島の一つで、東京都心から南へ約180kmのところに位置する。周囲は約22km。島を1周する道路はなく、車で半周するだけなら40分ほど。主要な観光スポットをめぐる場合は約2時間かかる。東京都心に比べて夏は涼しく、冬はやや暖かいため、年間を通じて過ごしやすい。島全体が富士箱根伊豆国立公園に指定され、季節の花を楽しめる天上山や、透明度の高い海、白い砂浜など、豊かな自然に恵まれている。マリナクティビティや釣り、温泉、神社めぐり、星空観察など楽しみ方も多彩。2020年には国内で2番目の「星空保護区」に認定された。魚介など地元産の食材を使ったグルメも自慢。



神津島へのアクセス



船

●東京・竹芝桟橋から

東海汽船 大型客船で
約11時間、1日1往復

東海汽船 高速ジェット船で
約3時間45分、1日1往復

●静岡・下田港から

神新汽船で最短2時間20分、1日1往復



飛行機

●東京・調布飛行場から

新中央航空で約45分、1日3往復
※時間、便数はシーズンで異なります

島の情報はココで！

神津島観光協会

●こうづしまんこうきょうかい
☎04992-8-0321



神津島港の目の前に立つ、まっちゃーれセンターの1階にある。島のパンフレットやマップを揃えるほか、菓子や雑貨などのみやげ品も販売。向かいには飲食施設の入ったよっちゃーれセンター(→P7)がある。

①神津島村37-2 まっちゃーれセンター内
②神津島港直結 ③8時30分～17時30分
④無休 ⑤あり



☎手荷物の一時預かり(有料)も行っている。コインロッカーも併設



7 夏男が歩いた道に立つ店 みのり屋商店

みのりやしょうてん

島の暮らしを支える商店の一つで、食品や日用品、雑貨などを取り扱う。トビウオや青ムロなどのくさやが人気。

☎04992-8-0309 ⑤神津島村634 ⑥神津島港から徒歩15分 ⑦7時30分～21時 ⑧第2・4木曜 ⑨あり



店前の通りを覆う大きなひさが目印



8 夏男が読書していた浜辺 前浜海岸

まえはまかいがん

約800mにわたって続く真っ白な砂浜と透き通った海が魅力の、神津島を代表するビーチ。海岸沿いにはテーブルとベンチもある。

⑤神津島村 ⑥神津島港から徒歩8分 ⑦⑧⑨散策自由 ⑩あり



夏には海水浴客で賑わう。夕日スポットとしても知られる

撮影のベースとなった宿はココ!

11 まざ〜ずあーす

本館は和室中心で、犬同伴の宿泊も可能。新館は、オーガニックや地元産の食材をふんだんに使った食事(別途料金・宿泊者のみ)を楽しめる。

☎090-4063-8456 ⑤神津島村221 ⑥神津島港から車で4分 ⑦新館1泊素泊まり1万2590円〜 ⑧IN15時 / OUT9時 ⑨あり



本誌掲載の全物件を表示

Google マイマップ

左のQRコードを読み込むと、オンラインMAP上で全スポットを一覧できる。現在地から目当てのスポットへの行き方を調べたいときにも便利!

●当コンテンツはGoogleマイマップを利用したサービスです。本サービスの内容により生じたトラブルや損害については弊社では補償しかねます。あらかじめご了承ください。●ブラウザでのご利用を推奨します。●お使いの端末や環境によっては動作保証ができないものがあります。●オンラインでご利用の際には各通信会社の通話料がかかります。●Googleマイマップで表示される電話番号や住所などの情報は、本誌掲載の情報と異なる場合があります。あくまで目安としてお使いください。●本サービスは予告なく内容を変更または終了する場合があります。※地図上のスポットの掲載位置は2025年8月現在のものです。※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

2日目		1日目	
10:30	神津島港(前浜港)発	10:00	神津島港(前浜港)着
9:30	前浜海岸 徒歩8分	11:00	神津島村郷土資料館 車で1分
20:00	※朝、レンタカーを返却	12:00	物忌奈命神社 車で2分
17:30	民宿 菊乃屋(宿泊) 車で10分	12:30	A I L A N A 車で2分
16:30	ありま展望台 車で20分	14:00	返浜 車で25分
15:00	赤崎遊歩道 車で20分	15:00	神津島村郷土資料館 車で3分
14:00	返浜 車で25分	16:00	神津島港(前浜港)着
13:00	A I L A N A 車で2分	17:00	民宿 菊乃屋(宿泊) 車で10分
12:00	物忌奈命神社 車で2分	18:00	神津島港(前浜港)着
11:00	神津島村郷土資料館 車で1分	19:00	神津島港(前浜港)着
10:00	神津島港(前浜港)着	20:00	神津島港(前浜港)着



海に向かって延びるレールの跡。線路上は立ち入り禁止



6 大きな岩が印象的なシーン 名組湾とトロッコ跡

なくみわんととろっこあと

昭和17年(1942)頃〜30年代、神戸山から採掘した抗火石を名組湾から出荷していた。その際に用いられたトロッコのレール跡が今も残されている。

⑤神津島村名組山 ⑥神津島港から村営バス温泉保養センター・赤崎遊歩道方面行きで13分、ドンタクハウス前下車、徒歩1分 ⑦⑧⑨散策自由 ⑩あり

9 夜にふたりが会話していた高台 ありま展望台

ありまてんぼうだい

小高い丘にある展望台。天上山と前浜海岸、集落を同時に眺めることができ、天気によければ富士山まで見渡せる。

Data→P6



ベンチもあるので、のんびり景色を楽しめる



10 渚と夏男が話しながら歩いた道 千両池駐車場手前の道

せんりういけちゆうしゃじょうてまえのみち

駐車場手前の道は木々に包まれ、眼下には断崖が広がるスリル満点の景観。道幅が狭いため、神津島灯台側からアクセスを。

⑤神津島村惣の場 ⑥神津島港から車で15分 ⑦⑧⑨散策自由 ⑩あり



岩場に囲まれた入り江・千両池。遊泳禁止。駐車場から狭く険しい道を15分ほど歩く



2 劇中映画の冒頭シーン 大黒根トンネル

おおくろねとんねる

赤崎遊歩道(→P6)よりさらに北、島の北端に位置。柱状節理の岩山に掘られたトンネルは、独特の雰囲気を醸し出している。未成道のため通行不可。

⑤神津島村神戸山 ⑥神津島港から村営バス温泉保養センター・赤崎遊歩道方面行きで15分、終点下車、徒歩10分 ⑦⑧⑨外からの見学自由 ⑩あり



記憶に残る
あのシーンの舞台へ

旅と日々

ロケ地めぐり

映画『旅と日々』に登場する、夏の島が舞台の劇中映画は全編神津島で撮影された。映画のシーンを思い出しながら、ロケ地を訪ねてみよう。



5 渚が泊まった民宿 民宿 菊乃屋

みんしゆく きくのや

天上山のふもとにあるアットホームな宿。地魚や季節の山菜といった神津島産の食材と自家栽培の野菜を使った料理を楽しめる。

☎04992-8-0325 ⑤神津島村377 ⑥神津島港から車で5分 ⑦1泊2食1万2900円〜 ⑧IN12時 / OUT9時 ⑨あり



外観は見学自由。内観は菊乃屋利用者のみ見学可

1 渚と夏男が落ち合った浜辺 返浜

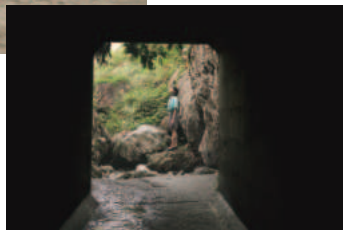
かやすはま

島の北岸にある静かな海岸で、プライベートビーチのような雰囲気。新島や式根島などを望める。遊泳禁止・トンネル内は立ち入り禁止。

⑤神津島村穴の山 ⑥神津島港から車で20分 ⑦⑧⑨散策自由 ⑩あり



砂浜の奥側には大きな岩がゴロゴロ転がっている



3 渚が訪れた観光スポットの一つ 神津島村郷土資料館

こうししまむらきょうどりょうかん

島の歴史や民俗について知ることができる。考古学的に珍しい出土品や黒曜石の民具、300kgもあるいかりなどが並ぶ。

☎04992-8-0947 ⑤神津島村118 ⑥神津島港から徒歩15分 ⑦入館300円 ⑧9～16時 ⑨月曜(祝日の場合は翌日、7・8月、年末年始は無休) ⑩あり



写真や実物の道具などが展示されており、わかりやすく学べる

4 渚が散策中に通った坂道 住宅街の道

じゅうたくがいのみち

神津島港からは島唯一の信号を左折し、松工橋を渡って坂を上った山下旅館本館付近が撮影ポイント。

⑤神津島村604 ⑥神津島港から徒歩15分 ⑦⑧⑨通行自由 ⑩なし





見る H 物忌奈命神社
● ものいみなのみことじんじや

①一の鳥居から拝殿までは88段の石段を上る

御祭神は、神津島の開祖といわれる物忌奈命。広大な社域には本殿や拝殿のほか、摂社・末社が点在する。毎年8月2日に行われる伝統行事「かつお釣り神事」は、国指定重要無形民俗文化財。

②神津島村41 ③神津島港から徒歩15分 ④⑤⑥参拝自由 ⑦あり

食べる K Hyuga brewery
● ひゅうが ぶるわーりー

クラフトビール醸造所併設のレストランで、特産の明日葉を使ったクラフトビールなどを味わえる。キンメダイや赤イカ、地のりなど、地元産の食材を使った料理も豊富。



食べる J 'AILANA
● あいらな

トレーラーコンテナを活用したハンバーガーショップ。つなぎを一切使っていない牛肉100%のパティは赤身肉が中心で、肉本来の味と食感を感じられる。テイクアウトもOK。

①070-3965-7405 ②神津島村667 ③神津島港から徒歩7分 ④11時～13時30分LO(火・金曜は～13時LO)、17時30分～19時LO ⑤木曜 ⑥なし

丸金商店の「赤イカ入塩辛」(中辛) 1500円
赤イカの身とスルメイカの肉を使用。辛さは甘口・中辛・辛口から選べる

神津島酒造の「盛若」720ml 1500円
神津島の湧水で仕込んだ麦焼酎。檜櫨特有の香りとまろやかな口当たりを楽しめる

神津島みやげも CHECK!
ココで買える!

買う M 黒潮商会 ● くらしおしょうかい
①04992-8-0172 ②神津島村57 ③神津島港から徒歩5分 ④8時30分～18時(7～9月は8～22時) ⑤不定休 ⑥あり

丸島みやげ店
● まるしまみやげてん
①04992-8-0302 ②神津島村57 ③神津島港から徒歩5分 ④8～18時(夏期は～22時) ⑤無休 ⑥あり

①左が黒潮商会、右が丸島みやげ店

見る G 阿波命神社
● あわのみことじんじや

伊豆諸島を造ったとされる事代主命の后神・阿波咩命を祭る。昭和7年(1932)に新しい本殿に遷座されるまで祭られていた祭壇は、古代の神社建築様式を今に伝える貴重な旧跡として都の史跡に指定されている。

①神津島村長浜1-2 ②神津島港から村営バス温泉保養センター・赤崎遊歩道方面行きで10分、長浜海岸下車、徒歩2分 ③④⑤参拝自由 ⑦あり

見る I 天上山
● てんじょうさん

承和5年(838)の大噴火によってできた標高572mの山で、昔から島民が霊山として信仰している。海浜植物から高山植物まで観察でき、山頂部は一年を通して多彩な花が咲き誇る。白い砂地や展望地、池など、低山ながらみどころ満載。初心者から上級者まで、約4～6時間のコースが整備されている。

①神津島村天上山 ②(初心者向けコースのスタート地点、白島6合目まで)神津島港から車で40分 ③④⑤散策自由(夜間の入山は禁止) ⑥あり(2～3台) ※神津島観光協会(→P2)や公式サイトで情報の確認を



①山頂付近では5月～6月上旬に神津島を代表する花・オオシマツツジが見られる

②不動池は雨が降って水がたまるハートの形に!

食べる L よっちゃーれセンター
● よっちゃーれせんたー

神津島港に隣接する海産物直売所。2階は神津島漁業協同組合女性部が運営する食堂で、キンメダイなど神津島産の新鮮な魚介を使った料理を提供している。

①04992-8-1342 ②神津島村37-2 ③神津島港直結 ④11時～13時30分 ⑤月・火・金曜 ⑥あり

①句の地魚がたっぷりのった漬井定食1300円

島旅を楽しむキーワード7 in 神津島

雄大な自然が織りなす風景や豊かな山海の幸グルメなど、魅力いっぱいの神津島。島をまるごと満喫するために押さえておきたいキーワードをご紹介します!

見る B 多幸湾
● たこうわん

雄大な自然に圧倒される天上山麓の海岸

①天上山側は遊泳禁止エリア

見る A 赤崎遊歩道
● あかさきゆうぼうどう

赤崎海岸沿いに整備された全長約500mの木造遊歩道。展望台からは新島や式根島、富士山、夜には満天の星も望める。天然の入り江を生かした海水浴場では、小鱼に出会えることも。

①神津島村榎木が沢 ②神津島港から村営バス空港・多幸湾キャンプ場・天上山方面行きで19分、終点下車すぐ ③④⑤散策自由 ⑦あり

多幸湧水
● たこうゆうすい

天上山に降った雨が地中でろ過された清らかな湧き水で、クセのないまろやかな味わい。「東京の名湧水57選」にも選ばれている。

ココにも立ち寄りた!

見る E 三浦湾展望台
● みうらわてんぼうだい

島の南東部に位置し、南の水平線まで見渡すことができる。空一面に星が広がり、例年2月頃には、日本ではあまり見ることができない南天の星・カノープスが見られることも。

①神津島村三浦 ②神津島港から車で10分 ③④⑤散策自由 ⑦あり

見る D よたね広場
● よたねひろば

360度遮るもののない広場は星空観察にぴったり。レジャーシートを敷いて寝転べば、まるで星空に包まれているような感覚に。宿泊施設が多く集まる神津島港付近の集落から気軽に歩いて行ける。

①神津島村37-2 ②神津島港から徒歩20分 ③④⑤散策自由 ⑦あり

見る C ありま展望台
● ありまてんぼうだい

島の南西部にある展望台で、クリスタルの「おたあジュリア」を偲んで建てられた、高さ約10mの白い十字架が目をはく。前浜海岸や天上山を一望でき、夕日や星空観賞にも人気のスポット。

①神津島村磯穴 ②神津島港から車で10分 ③④⑤散策自由 ⑦あり

①太平洋に沈む夕日を高台から見ることが出来る



①遊歩道には高さ異なる2つの飛び込み台もある。夏のシーズン中は海水浴客で賑わいをみせる

見る F 神津島温泉保養センター
● こうづしまおんせんほうようせんたー

約275㎡の広々とした大露天風呂、高台にある展望露天風呂、沢尻湾を見渡せる小露天風呂といった、自然の岩場を生かした露天風呂が人気。内湯は気泡風呂やサウナなどがある。

①04992-8-1376 (レストランは ②04992-8-1211) ③神津島村鎮崎1-1 ④神津島港から村営バス温泉保養センター・赤崎遊歩道方面行きで5分、温泉保養センター下車すぐ ⑤入浴800円 ⑥11～20時(受付は～19時、レストランは11時30分～13時30分LO、16時30分～20時30分LO) ⑦水曜(7～9月は無休、大露天風呂は夏期のみ営業) ⑧あり

見る G ありま展望台
● ありまてんぼうだい

島の南西部にある展望台で、クリスタルの「おたあジュリア」を偲んで建てられた、高さ約10mの白い十字架が目をはく。前浜海岸や天上山を一望でき、夕日や星空観賞にも人気のスポット。

①神津島村磯穴 ②神津島港から車で10分 ③④⑤散策自由 ⑦あり

①併設のレストランでは島産海鮮丼2500円などを提供 ②露天風呂は水着着用。夕日や星空も見られる

第78回
ロカルノ国際映画祭
金豹賞《グランプリ》
ヤング審査員賞特別賞

毎日が旅の途中だ

『夜明けのすべて』『ケイコ 目を澄ませて』
三宅唱監督 最新作

旅と日々

シム・ウンギョン

河合優実 高田万作

斉藤陽一郎 松浦慎一郎 足立智充 梅舟惟永/佐野史郎

堤真一

監督・脚本 | 三宅唱

原作 | つげ義春『海辺の寂景』『ほんやら洞のべんさん』

音楽 | Hi'Spec

制作 | 映画『旅と日々』製作委員会

配給 | ビターズ・エンド

助成 | 参事官文化芸術振興費補助金(日本映画制作支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

©2025 旅と日々製作委員会

www.bitters.co.jp/tabitohibi

2025年11月7日(金)より全国公開

〔発行〕神津島観光協会

表紙写真…前浜海岸(ロケ地)、多幸湾ほか 写真協力…(一社)東京諸島観光連盟/中村宗徳 イラスト…榎本直哉

※この事業は、「(公財)東京観光財団 多摩・島しょ安定集客促進事業助成金」を活用して実施しています。

※本誌掲載のデータは2025年8月末のもので、発行後にデータが変更になる場合がありますので、お出かけの際には電話等で事前に確認されることをおすすめいたします。なお、本誌掲載内容による損害等は補償いたしかねますので、あらかじめご了承くださいませよう願いたします。※本誌掲載の入園料などは大人料金を掲載しており、原則として取材時点で確認した消費税込みの料金です。※定休日は原則として年末年始・お盆休み・ゴールデンウィークを省略しています。※利用時間は特記以外原則として開店(館)～閉店(館)です。オーダーストップや入店(館)時間は通常閉店(館)の30分～1時間前ですのでご注意ください。※宿泊料金は、原則として1泊2食、素泊まりに関しては、1室2名で宿泊した場合の1名料金です。※交通の所要時間はあくまでも目安です。天候の影響や季節により変動する場合がありますので、お出かけの際には各交通機関にお問合せください。

©2025『旅と日々』製作委員会